

CONTENTS

特集 どうする？ PCAS

責任編集 藤本 佳久, 井上 明彦, 則末 泰博

- ① **DEPARTURE** : PCAS プロトコルをどう組み立てるか? その背景にあるものは何か? 499
藤本 佳久 聖マリアンナ医科大学 救急医学 Neuro ICU team
- ② **心停止後症候群の病態生理** : 脳組織低酸素回避のためにできること 501
岡崎 智哉 東京ベイ・浦安市川医療センター 救急集中治療科
- ③ **初療における心停止診療** : 限られた時間でいかに ICU 診療につなげるか 513
大橋 孝太郎・松岡 由典 神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター・救急部
- ④ **二次性脳損傷を回避する ICU 管理に必要なこと** 525
ガイドラインやエビデンスをふまえた管理方法
諸橋 優祐 TMG あさか医療センター 神経集中治療部 藤本 佳久
- ⑤ **PCAS に特徴的な合併症** 537
合併症チェックリストにのっとり迅速かつ適切に対応
井上 史也 聖路加国際大学大学院 公衆衛生学研究科 大谷 尚之 広島市立広島市民病院 救急科
- ⑥ **低体温療法は本当に効かないのか? : 歴史的経緯から低体温療法が有効な患者群を探る** 547
内藤 宏道・湯本 哲也・中尾 篤典 岡山大学学術研究院医歯薬学域 救命救急・災害医学講座
うちの体温管理はこうやっています
【コラム】 **脳波所見に合わせて目標体温を設定する** 556
aEEG 所見を用いた体温管理プロトコルの実際とその効果
井上 謙・杉山 和宏 東京都立墨東病院 高度救命救急センター
【コラム】 **33℃を 24 時間維持し, 24 時間かけて 36.6℃に復温** 560
効果が期待できるかもしれないのであれば, 基本は低体温療法がよいのではないか
井上 明彦 兵庫県災害医療センター 救急部
【コラム】 **開始 24 時間は 36℃, その後の 72 時間も引き続き 36℃** 564
目標体温維持困難例では上昇も許容
渡邊 和貴・稲田 崇志 練馬光が丘病院 救急総合診療科 集中治療部門
発作定義を満たしていない脳波異常に抗発作薬を投与する vs. しない
- ⑦ **Pro : 投与する** : 背景活動に注目して治療を考慮する 567
鈴木 秀鷹 武蔵野赤十字病院 救命救急センター
- ⑧ **Con : 投与しない** : 明確な治療の有効性が示されていない以上, 明らかな副作用を重視するべきである 573
岡崎 哲ロバート 亀田総合病院 集中治療科
advanced 脳機能モニタリング
【コラム】 **国際 10-20 法** : 神経集中治療に携わる医師必修の技術 578
渡邊 真那斗 武蔵野赤十字病院 救命救急センター 鈴木 秀鷹
【コラム】 **電極数が限られた脳波計** : ポイントを押さえた施行で臨床に有用な情報を 582
佐久間 絢 聖マリアンナ医科大学 救急医学 藤本 佳久
【コラム】 **aEEG (amplitude-integrated electroencephalogram)** 586
モニタリング時におけるポイント
杉山 和宏
【コラム】 **BIS (bispectral index)** : 心停止蘇生後の予後や脳障害の判定には補助的な利用を 590
小畑 友里江 淀川キリスト教病院 麻酔科 細川 康二 福井大学医学部 麻酔・蘇生学
【コラム】 **SedLine** : 脳波をもっと活用するために 594
渡邊 真麻 公立西知多総合病院 麻酔科・集中治療センター 矢田部 智昭 公立西知多総合病院 救急診療センター
【コラム】 **NIRS (near infrared spectroscopy)** 598
その有用性は脳波モニタリングのトリガーにあり
下山 京一郎 TMG あさか医療センター 神経集中治療部, Neuro ICU and Coma Science Center
特殊なモニタリングで読み解く脳機能
【コラム】 **脳マイクロダイアリシス** : 基本と測定できる物質を知っておこう 602
黒田 泰弘・河北 賢哉 香川大学医学部 救急災害医学講座/附属病院 救命救急センター

9	治療方針を支える予後予測：予測因子と評価のタイミングを押さえる	607
	柏浦 正広 自治医科大学附属さいたま医療センター 救急科	
	【コラム】移植：ポテンシャルドナーの同意から家族への説明まで	618
	山本 亮 神戸市立医療センター中央市民病院 麻酔科・集中治療部 瀬尾 龍太郎 神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター	
10	PCAS 患者家族とのコミュニケーション：患者にとって最善のゴールを話し合うために	621
	三好 祐輔 神戸市立医療センター中央市民病院 緩和ケア内科	
	【コラム】思い出に残る症例：体に刻まれた DNAR	630
	熊城 怜己・武居 哲洋 横浜市立みなと赤十字病院 救命救急センター	
	【インタビュー】エンゼルケアのあり方	632
	Interviewee	
	上野山 栄作 オレンジライフ 代表取締役社長/全日本葬祭業協同組合連合会 教育研修委員長	
	相楽 雄治郎 さがら 専務取締役/全日本葬祭業協同組合連合会 教育研修委員（福島協組）	
	濱野 貴史 帝都典禮 取締役/全日本葬祭業協同組合連合会 教育研修委員（東京協組）	
	佐藤 憲明 さとう葬祭 代表取締役/全日本葬祭業協同組合連合会 教育研修委員（福岡協組）	
	松本 勇輝 全日本葬祭業協同組合連合会 専務理事	
	Interviewer	
	藤本 佳久 井上 明彦	
11	基礎研究によって進化する PCAS 診療：心停止後脳障害に対する新規治療戦略	641
	錦見 満暁 広島大学大学院 救急集中治療医学	
12	FLIGHT：PCAS の未来	647
	井上 明彦	

連載

◆ え？知らないの？バスキュラーアクセスカテーテルの使い方	652
〈シリーズ構成：上岡 晃一 東京医科大学病院 臨床工学部〉	
此内 緑・峰松 佑輔 大阪大学医学部附属病院 臨床工学部	
◆ 集中治療に関する最新厳選 20 論文	659
田邊 翔太 松江赤十字病院 救急部 吉田 英樹 聖マリアンナ医科大学 救急医学	

◆ 訂正とお詫び	651
◆ 倫理規定	666
◆ 次号予告	667

注意 本誌に携わった全員が、本誌に示す情報が正確で、実臨床を反映したものとなるよう極力努力した。しかしながら、編者等ならびに出版社は、本誌の情報をを用いた結果生じたいかなる不都合に対しても責任を負うものではない。薬物の使用にあたっては、個々の薬物の添付文書を参照し、適応、用量、付加された注意・警告に関する変化を常に確認されたい。